

平成29年度 第1回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

平成29年11月28日調製

1 日 時	平成29年11月7日（火） 午後2時開会
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 音楽室兼集会室
3 出席委員	小林、中嶋、村山、高橋、中川、山田、川上の各委員
4 欠席委員	柄澤、高橋、藤田、坂田委員
5 説明のための出席者	佐藤館長、佐藤事務長、諸橋主任
6 所管課	五十嵐商工課長、大竹係長、五十嵐主任
7 傍聴者	なし
8 報道機関	なし
9 議事内容	(1) 正副会長の互選について (2) 平成29年度事業計画及び実施状況について (3) その他
10 会議の経過及びその結果	
佐藤事務長	これより第1回の運営審議会を開会します。本年5月1日付けで新たに運営審議委員としてお引き受けを賜り2年間の任期で委嘱申し上げました。会長、副会長が選任されるまでの間、事務局で進行させていただきます。では、最初に佐藤館長よりあいさつを申し上げます。
佐藤館長	先月28、29日でソレイユ祭と前夜祭を開催しまして、日曜日には約800名の延べ数の来場者がありまして、私どもの講座のお披露目もありますが、地域の皆さんあるいは青少年の皆さんいろんな世代の方が利用させていただいて非常に親んでもらっているなあと改めて感じた次第です。審議会の皆さんからは常日頃からいろんな課題を踏まえながらご審議をいただいておりますけれども、ここばかりでなく全国的に非常に厳しいものがあるということは認識させてもらっていますが、そんな中でも三条の特色を生かしながら、より地域に開かれた施設として運営していきたいと考えておりますので、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。よろしく願い申し上げます。
佐藤事務長	それでは5月の選任後最初の運営審議会でもありますので、委員の皆様と事務局の自己紹介をお願いします。
各委員及び事務局職員	小林委員（3期目）、中嶋委員（異動して初めて）、村山委員（異動後初参加）、高橋委員（受講者代表）、中川委員（4年目）、山田委員（事務局長就任後初めて）、川上委員（2期目）、佐藤館長、佐藤事務長、諸橋主任、五十嵐商工課長、商工課大竹係長、五十嵐主任の順で自己紹介。
佐藤事務長	議事に入ります。 本日の議題1の正副会長の選任についてお諮りします。

	事務局一任でよろしいでしょうか。では、会長に前回からお願いしています三条工業会から選出されている小林委員をご推薦申し上げます。
各委員	拍手
小林会長	司会進行を任せるということで、ここから私のほうで進行させていただきますが議事が滞りなく進められるようにお願いします。では、副会長の選任ですが、私に一任させていただき、本日は欠席されていますが、勤労青少年福祉推進者連絡協議会から選出されております藤田委員に事前に内諾を得ているということなのでお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
各委員	拍手
小林会長	それでは、議題の2番、平成29年度事業計画及び実施状況について事務局の説明をお願いします。
佐藤事務長	資料2ページから9ページの事業計画について説明（活動方針については3月の会議で詳しく説明済みのため割愛）。引き続き資料10ページから15ページまで今年度9月末現在の実施状況について説明。 今年度初めて取り組んだ事業として、短期で簡単ゆかた着付講座。啓発活動では、ソレちゃんのストラップ作り、三条及び三条北ロータリークラブからの声掛けでソレイユ三条の事業を紹介させてもらう機会を作っていた。 その他として救急救命法及びAED操作講習会を開いてスポーツ系の利用者から学んでもらいました。
小林会長	それではこれから皆さんからご質問・ご意見をお受けする時間になりますが、挙手というと大概何も手が上がりませんので、中嶋委員のほうから意見、質問事項、確認事項なんでもお願いしたいと思います。
中嶋委員	事業等を見させていただいて、私は県の人間なので、どうしても県内各所にある勤労青少年ホームと比較してしまうのですが、三条市さんは相当うまくいっているなあという印象があります。情報発信が不十分なので一概に言えないのですが、比較する限りにおいては十分な活動をされていると思う。 ただ、若い方をターゲットにするという基本方針はありますが、「40歳未満を優先しているが」という文言を入れる、入れないとかなど、その辺の表現をどうするかポイントになってくると思います。 感觸的には活動は充実されていると思うので、特に課題等は見つからないわけですが、県内を見渡した場合、施設は有効に使われているなあという印象があります。 三条市さんは人口的に中山間地と比べれば若い人が少なくて困るという悩みはないと思うので、問題点はないと考えています。
小林会長	40歳未満云々というのは、前回か前々回でしたか話が出ていましたね。
佐藤事務長	この審議会の席でも、当初35歳未満とか40歳未満とかなくしたほうがいい

	んじゃないかという意見がございまして、私どもも今年度から広報するに当たり、年齢制限をなくしましてどなたでもいうスタンスで募集しております。
小林会長	そういう中で、明らかに変わったなあという印象はありますか。
佐藤事務長	明らかに変わったということではないですが、結構年配の方からの問い合わせがありまして、「私でも大丈夫なんですか」という問い合わせがあります。どうしても昔からのイメージがありまして、若い人じゃないと利用できないのではないかという方も多くいらっしゃいますので、問い合わせがあるたびにどなたでもどうぞということで受付けをしております。
高橋委員	2017年度のソレイユ祭は大変盛り上がったようですが、大変良かったと思います。感触はいかがでしたか。
佐藤事務長	今年については、なるべく若い人からソレイユに足を運んでもらいたいために、新潟市のアイドルグループ RYUTist を呼んで開催したわけですが、私のイメージでは多目的ホールがいっぱいになって混乱するのではないかと心配していましたが、ふたを開けるとそうでもなくて、先ほど説明したように100人程度多くなったということでした。しかしながら、並べたイス席はほとんど埋まっていたので、今までのステージ発表よりは大分混んだなという印象でした。
小林会長	それも RYUTist の効果なんでしょうか。
佐藤事務長	そのように考えております。
佐藤館長	最初に一中のブラスバンドの皆さんの演奏があって、ご家族だとかいっぱい来ていただいたことと、それと即売会でもソレイユの講座発表もすべて多目的ホールにもって行って流れも随分良くなったと思っております。
高橋委員	<p>人気のある講座を前期と後期に分けたことで、一年間だと申し込みが集中してしまうとダメじゃないかと思う方が結構いらっしゃるようで、そこは大変良かったという意見が多くありました。</p> <p>それから簡単ゆかた着付は私が講師としてお手伝いさせてもらったんですけども、男性や高校生もいらっしゃいまして、少人数でしたが大人数よりも逆に集中してダイレクトで伝わることで良かったかなと思っています。</p> <p>先ほど事務長の説明で年配の方から問い合わせがあるという話ですが、電話をされる方は緊張して電話をするので、その際、事務局の電話の対応が非常に良かったという意見がありました。この講座を習いたいプラス電話の対応が良かったことで背中を押されて良かったという意見がありました。</p>
小林会長	ネガティブな面はないですか。
高橋委員	人数が集中するヨガやピラティスなど運動系がどうしても多いので、その中で長くやっている人が威張るような雰囲気になってなんとなく敷居が高くなってしまっていることがあるのかなと感じています。

佐藤事務長	<p>こちらとしては先輩・後輩という流れはないと思っておりますが、そういう意味もあって人気の講座は前期と後期に分けて募集し、後期になって新しい空気が流れるのはいいのかなと思っております。</p> <p>それともう一つ。簡単ゆかた着付講座に受講された方は大変喜んでいまして、来年また時期になったらやりたいと考えています。</p>
小林会長	1回当たり3人くらいがちょうどいいのかな。逆に6人とかだったらきついのでしょうか。
高橋委員	できなくはないと思いますが、受講される方の充実度が違うと思います。
小林会長	とりあえず電話対応が抜群ということでよかったですね。
佐藤事務長	ありがとうございます。
川上委員	各種講座の受講料が2,500円とか3,000円に設定されていますが、いわゆる民間の教室と比較して安いのかどうなのか。
小林会長	安いですね。
川上委員	そうですね。でもそういうことであれば、その辺の認知がされているのかどうかわかりませんが、そういう面をもう少しアピールすると利用しやすいのかなという気がします。
佐藤館長	講師の方もソレイユの講座なら、という意味合いでソレイユからわざわざばかりの謝金をお出しして、一般的に見て半額かどうかは別として間違いなく破格でやってもらっていますね。
川上委員	そうはいつでもまだ余裕のある講座はあるわけですね。そうなるとわかっていない人がまだまだ多くいるのではないですか。あとは年齢ですが少子高齢化時代、40代でも50代でも誰れでもいいんじゃないでしょうか。
佐藤事務長	そこはもうフリーで受け付けています。
佐藤館長	以前、上町にあったとき利用された方が、ここを思い出して「私たちも利用できるんだね」とおっしゃる方も多くいらっしゃいますね。
川上委員	あとは、今年度からでしたか、ソレイユだよりを毎月商工会のほうにお持ちいただいたり郵送だったりして会報と一緒に配っているんですが、果たして従業員が見てくれているのか疑問がないわけじゃないので、メモを付けて会報に入れようかなと思っております。先ほどの成人式みたいにゴミになったら申し訳ないですから。
佐藤事務長	今の話、審議会の皆さんには説明をしていないので、初めて聞かれたと思いますが、改めて説明しますと、今年度から下田商工会と栄商工会の加盟している全事業所に配布してもらおうとソレイユだよりを増刷して配ってもらっています。
小林会長	配るとするのは、郵送して？
山田委員	会報に挟み込みです。

佐藤事務長	前年度の審議会の中でご意見がありましたので、早速今年度から実施しています。
山田委員	私どもも会報の中にいろんなものを入れるわけですね。ソレイユさんのものも入れるわけですが、新聞のチラシじゃないですが、そこにインパクトがないと見てくれないもどかしさというか、そういうものがあると思うので、もう少し何とかと思いますねえ。
小林会長	難しいですが、継続してどうかということでしょうね。
山田委員	当初登録者数を見ますと、目標がトータルで 595 人に対して実績が 593 人とはぼとんとんとなっています。中身を見ると 40 歳未満の人口が 1 年で 259 人減少しているという中で、30 歳未満が 180 人のところ 111 人、40 歳未満が 180 人のところ 156 人で、40 歳以上 60 歳未満になると 140 人の目標をオーバーして 187 人ということで、情報発信というか SNS やいろんなメディアを利用して登録者については順調かなと思っていますが、若者が少なくなっている現状を見ればよく健闘しているのではないかと思います。一方、私どもの商工会も会員が減ってしまっていて、どうやって会員を増やすか悩んでしまっていて、既存の役員だと頭が固くなっているんで、今後は青年部の考え方を切り口としてロコミなどから引っ張りたいと思っているが、こちらは会員拡大にどういうところが功を奏しているのかお訊ねしたい。
佐藤事務長	功を奏しているという感触はないですが、このたびのソレイユ祭のポスターやチラシなどもなるべく若者が集まりそうな場所、例えば、スナックとかラーメン屋とか駅の待合所などに飛び込みで貼ってもらったり置いてもらったりしました。できることならカラオケボックスや駅構内などにもお願いに行くんですが、残念ながら断られてしまいます。その辺について、功を奏しているという印象はないので、思いつくことを精一杯やっている中では、その程度です。
中川委員	<p>1 階の喫茶コーナーの所に結構人がいらっしやいまして、非常に賑やかなんだなあと思ひまして、よく考えてみるとあれが毎日じゃなくて、前に来たときは休みの時だったんだと思ひました。さて、中身は数字的にも増えているということですし、広報活動にしても私は 3 期目ですが、以前に比べると事務局の方が随分努力されているなあという印象があります。</p> <p>きょうお休みですが、坂田委員さんが良く言っらっしやった子育てされているお母さん方に対して何かないのでしょうかね、という話ですが、私はありなのかと思います。先の長い話になりますが、小さい頃ここに来て楽しかったという記憶があれば、大きくなったときに利用してくれるんじゃないかなという気もします。そういったことで、昼間でいいのですが、そういった方たちの何かしら講座があれば、先は長いですが将来の利用者獲得にはいいかもと思います。</p>

佐藤事務長	<p>そうですね。今年から子どもたちにも積極的にアプローチしようかという考えの中で、先ほど説明申し上げましたが、納涼祭の中で青年たちから頑張ってもらって、初めてお化け屋敷をこの会場でやったんですが、そのチラシを配るに当たって配布方法を変更しております。それは、過去ずっとこの手のチラシは近隣の自治会を通じて広報に挟み込む方法を取っていましたが、今年は学校にお願いして全校児童に配りました。その結果、先ほども説明しましたが、例年は地域の子どもたち5～60人でしたが、今年は250人ほど集まりましたので、大勢来てくれたということで効果があったのではないかと思います。その子どもたちがソレイユを覚えていて将来的に頭に残っていてくれればありがたいなあと思っております。</p>
小林会長	<p>それであれば毎年やらないといけませんね。</p>
佐藤事務長	<p>青年たちも感触が良かったので、来年またやりますと言っています。</p>
小林会長	<p>いい循環ですね。今ほどご意見のあった子育て中のお母さんをターゲットというのはどうですか。</p>
佐藤事務長	<p>小さいお子さんを預かるには誰かにお願いしなければならないし…</p>
中川委員	<p>そうではなくて、あんまり小さい赤ん坊だと大変でしょうが、ある程度聞き分けのある子ども連れのお母さんを対象に、講座をしている間、お母さん方の集まりができて、そして子どもたちも一緒に遊ぶような形になれば、お母さんも楽だろうし、子どもたちも喜んで印象に残ってくれば、小学校になったらお化け屋敷に行ってみようとかか中学生・高校生になったらあそこに行ってみようとか、社会人になったらあそこでサークルやっていたから入ってみようかという形にならないかなと、何も子どもの面倒を見る場所を作れという意味ではないです。</p>
佐藤館長	<p>可能であればそうですね。栄のほうにはすまいるランドなどがありますが、ここはそこと同じような規模だとか対応できないでしょうけど、確かにそういった方のものが抜けているのかもしれないですけどね。</p>
小林会長	<p>そこは結構な利用率なんですよ。</p>
佐藤事務長	<p>すまいるランドですか。そこは毎日いっぱい遊びに来ていらっしゃいます。いろんな年代の子どもが遊べるような遊具などが揃っているのでいいですが、ここだと何か子どもたちのために用意をしないといけないということになりますので難しいですね。</p>
小林会長	<p>そういうところであればより口コミも拡がりやすいかもしれませんね。</p>
佐藤事務長	<p>他の所も参考に検討してみます。</p>
村山委員	<p>お話を伺いまして質問等、感じたことを述べさせていただきます。まず感想なんですけど資料の2ページのアンケート結果にソレイユの存在を知らない、講座を知らない、場所がわからないという20代、30代の方が60%を超えて</p>

	<p>いるということで、数値が大きくて驚きました。先ほどのお話にもあったのですが、各講座の受講料が非常に安くてほんとに半額以下だと思うので、わかっていて参加しないのであればいいですが、講座がわからないとかソレイユを知らないとかということであるととても残念だなあと感じました。それと今年のソレイユ祭の参加が非常に多かったというお話がありましたが、日頃の周知広報活動が大切なんだなあと感じました。周知広報活動についてはSNSをはじめとする公共広報のお話の中で、インターネットでのソレイユのアンケートがあまり集まらなかったのをやめたということですが、実際に周知広報活動がどれくらい効果的なのかなとまず伺いたいと思いました。あと私の経験からなんですが、講座の時間が平日夜だけなので、働いている方が仕事終わって果たして参加しやすいのかなと思いました。私は秋葉区に住んでいるんですけども、秋葉区の勤労青少年ホームでお菓子づくりの講座がありまして、それは月1回土曜日だったので非常に参加しやすかったので働きながら全コース受講できたので、もし講座が可能であれば参加できる方もいらっしゃるのかなあと感じました。</p> <p>先ほど子どもへのアピールが大事だというお話があったんですけども、自分の子どもが小学生の頃、学校のほうから勤労青少年ホームでお年寄りが折り紙講座とか編み物講座とか2月に1回程度なんですけれども、それも半年コースでやるので参加希望のお子さんは申込書を出してくださいとお便りがあったんですね。案内がくるとやはり必ず親が見ますので、活動内容を周知するには効果的なのかなと思います。先ほどお化け屋敷で学校に配布したところ非常に参加人数が多くなったとおっしゃっていたので学校に配布するというのは効果あるのかなと感じました。</p>
佐藤事務長	<p>そうですね。最後のほうで言われましたが周知の面で子供が家庭に持って帰るということは誰かが見るということで良かったかなと思っていますので、お化け屋敷ばかりではなくて、先ほどの中川委員の意見にあった親子で楽しめる講座とかターゲットが小学生とかの講座などであれば、従来の広報とかホームページばかりじゃなくて、学校にお願いして周知することも考えていきたいと思っています。</p> <p>平日以外で講座をとということですが、アンケートでは平日のほうが良いという回答が大半を占めているので、土日等の講座開設に踏み込んでいないわけです。声を聞きますと、土日などの休日は皆さんどこかへ出かけたりすることが多いと感じておりますし、私ども委員会でも交流の機会を持つために納涼祭やバーベキュー大会などほぼ月一で職員が出る行事があります。そのほかに土日の講座となると日程調整が難しくなりますし、ただ、講座の内容と先生の都合にもよると思いますが、それが可能になるかどうか講座の講師と話をし、もしできるようになれば次の審議会で報告できるようにかもしれないので今ほど</p>

	のご意見を参考にさせてもらって相談したいと思います。
小林会長	過去、土曜の講座ってあったのですか。
佐藤事務長	昔はわかりませんが、4年前に引き受けてからはないです。
小林会長	どんなインパクトがあるかどうかわからないですね。土日のほうがいいという方もおられるのでしょうか。
佐藤館長	いないわけではないと思いますけれども、だいたい夜7時半からなんですけど、もっと早い方がいいという方と、7時半だと間に合わないという方もおられますが、一旦職場を離れて7時半だと時間を潰すのが大変だという方もいらっしゃいますので悩ましいところではあります。
小林会長	ちなみに学校への配布というのは嵐南小学校だけですか。
佐藤事務長	今のところそうですね。ただ、ソレイユ祭については全校に配布しました。
小林会長	Facebook を上げられていますね。どれくらいの人がリーチされているか分かりますね。
佐藤事務長	1,000 にいってないと思います。
小林会長	ありがとうございました。ひととおり皆さんからご意見を伺いました。それではその他に移りたいと思いますが、事務局で何かございますか。
佐藤事務長	次は議題の3になりますが、事務局からは議題というより報告事項になります。実は先日料理講習室の排水管が断裂していることがファイバースコープの調査によって明らかになりまして、直ちに使用を中止しております。従いまして現在行っている講座については、当分の間、ものづくり学校の調理室をお借りして継続することで調整しております。また、ここを借用して料理講習や行事を行っている予約済みの団体等については電話連絡し、多少の不満はあったものの了解をさせていただいておりますことを報告します。
小林会長	今の件で、市のほうは特に。
五十嵐商工課長	それを受けまして、市の施設ということもありますので、予算を付けるとか工事をどうするかとか上司と相談しておりますので、予算をつけて工事に入るとか今のところ協議中ですのでご容赦ください。
小林会長	修繕はするわけでしょ。
五十嵐商工課長	はい。今休止中ですので、できるだけ早く結論を出したいと思っております。
小林会長	そのほか皆さんから特になければ終わりにしたいと思いますが、事務連絡がありましたらお願いします。
佐藤事務長	次回は3月中旬ごろ議会の合間をぬって予定しております。 審議会規則では運営審議会の会議録を作成することになっておりますので、今回の会議録は会長と事務局で調製しまして後日ホームページに掲載予定です。
小林会長	はい、ありがとうございました。これで閉会とさせていただきます。
	閉会 午後3時10分

